

# 市民が選ぶ川ごみマップ大賞 受賞一覧

ごみマップ名 対象河川 水系 制作者 受賞理由、マップへのコメント

## 大賞

千歳川河川事務所「ゴミマップ」	千歳川 他	石狩川	北海道開発局 札幌開発建設部 千歳川河川事務所	デザイン性が優れています。特に裏面のイラストが秀逸であり、人との関りの表現や市民向けの行動のよびかけなど見る方に当事者性を感じさせます。川の気持ちを感じさせるSADやBADだけでなく、GOODマークには好感が持たれます。
-----------------	----------	-----	----------------------------	--

## 最優秀賞

十勝川ゴミマップ	十勝川・札内川・音更川	十勝川	北海道開発局 帯広開発建設部 帯広河川事務所	不法投棄は犯罪であることを告発する一方で、未然防止の取り組みや「とかち不法投棄やめさせ隊」で市民などと連携して取り組んでいることを明記しています。子どもから年配の方まで誰でもが見やすい表現で、レイアウトのデザインにも優れています。不法投棄処分量を小学校の教室の個数に例えていて子どもたちにもわかりやすいよう工夫されています。
----------	-------------	-----	---------------------------	--

## 優秀賞

やめよう不法投棄、美しい阿賀野川をいつまでも	阿賀野川・早出川	阿賀野川	北陸地方整備局 阿賀野川河川事務所	1枚という限られたスペースの中に、ごみの割合、活動、処理費用、対策など伝えたい事柄が網羅的にまとめられ、見やすくレイアウトされた見本となるマップです。凡例もわかりやすくなっています。地区ごとに投棄件数を集計し、沿川住民にも関心がもたれるようになっています。
------------------------	----------	------	----------------------	--

## 優秀賞

関川ゴミマップ(高田出張所)	関川他	関川	北陸地方整備局 高田河川国道事務所	河川管理者と地域で一体の連携活動を呼びかけるメッセージ性が感じられます。その中で生態系への影響を訴える記載があることが目を引きます。空缶・空瓶やプラスチック容器等の生活に密接した不燃物が大多数を占めることの表記は、川ごみが市民生活と関連が深いことを市民に訴えています。写真はゴミの種類別に色分けするなどの工夫もされ、デザイン性も優れています。メッセージがたくさん込められていますが、字が小さいと読まれにくい(伝わらない)こともあるので簡潔な表現で字を大きくするなどの工夫を期待します。
----------------	-----	----	----------------------	--

## 優秀賞

遠賀川ごみマップ	遠賀川他	遠賀川	九州地方整備局 遠賀川河川事務所	支流を含めた数多くの投棄箇所が示され、流域全体の視点が感じられます。プロット円の大きさを示して直感的にごみを認識しやすく工夫されています。河口堰に集まるごみにも着目し、川と海の接点がわかるようになっています。ごみの回収量、処分費用等の15年の経年変化グラフでごみ投棄の傾向がうかがえます。流域住民への啓発資料として活用されることを意識したマップであると感じられます。
----------	------	-----	---------------------	---

## 優秀賞

山国川・中津川ゴミマップ	山国川・中津川	山国川	九州地方整備局 山国川河川事務所	凡例が色と写真で示され、ごみ投棄の多い場所の説明があり、見やすいマップです。沿川地域住民向けの啓発パンフレットとして意識したものと感じられます。流域内全世帯への周知のため回覧板による全戸回覧で活用されていることは、市民への周知の点で見本となります。ごみの内訳で、ペットボトルまで分類されているのは他に例を見ません。しかしペットボトルと紙くずを同一で分類されることには違和感を感じます。
--------------	---------	-----	---------------------	--

## 入賞

岩見沢河川事務所管内ゴミマップ	石狩川下流他	石狩川	北海道開発局 札幌開発建設部 岩見沢河川事務所	流域の市町村別の人口比とごみの不法投棄件数比率などを示し、興味惹かれます。投棄ごみ件数の70%が家庭ごみであることを示し流域住民への啓発となっています。
-----------------	--------	-----	----------------------------	--

## 入賞

米代川ゴミマップ	米代川	米代川	東北地方整備局 能代河川国道事務所	みやすいレイアウトとなりプリントアウトしたパンフレットとしての活用も考えられます。河川敷利用についても紹介されていることにも興味惹かれます。
----------	-----	-----	----------------------	--

	ごみマップ名	対象河川	水系	制作者	受賞理由、マップへのコメント
入賞	<a href="#">久慈川水系ゴミマップ</a>	久慈川、里川、山田川	久慈川	<a href="#">関東地方整備局</a> <a href="#">常陸河川国道事務所</a>	家庭ごみが多いことを写真と図で示し、沿川住民にとっても他人事でないことを訴えています。 定量的な数値で焦点を絞りシンプルにまとめています。 第2面を活用し説明を加えるとともに、ごみを捨てないでほしいという思いを伝えています。
入賞	<a href="#">梯川ゴミマップ</a>	梯川	梯川	<a href="#">北陸地方整備局</a> <a href="#">金沢河川国道事務所</a>	棒グラフの使用で、伝えたいことの焦点が絞られたわかりやすいマップとなっています。 家庭ごみが全体の78%を占めるということが、沿川住民に訴えかける内容となっています。 3年間の推移を見せ、ごみが多いところの固定化がわかりますが、そのコメントがあるとさらにわかりやすくなると思われます。
入賞	<a href="#">安倍川ゴミマップ</a>	安倍川・藁科川	安倍川	<a href="#">中部地方整備局</a> <a href="#">静岡河川事務所</a>	分類を一般ごみ/粗大ごみ/その他の3種類に絞り、そのボリュームを示しているのを見やすくなっています。個々のごみの詳細状況もまとめて公表し、マップの根拠が示されていると感じられます。 グラフ類には説明コメントがあるとさらにわかりやすくなると思われます。
入賞	<a href="#">木曾三川上流部ゴミマップ</a>	木曾川・長良川・揖斐川	木曾川	<a href="#">中部地方整備局</a> <a href="#">木曾川上流河川事務所</a>	純粋なマップ編とグラフと写真の資料編に分けスッキリとまとめ、マップについては種類ごとの量ではなく単純な量のみで示していることで全体的なバランスが取れ、見やすくなっています。 引き気味の写真で場所の状況がよくわかります。 グラフに説明コメントがあるとさらにわかりやすくなると思われます。 上流と下流とで分けず、流域全体を示すマップがあればさらに良くなると思います。
入賞	<a href="#">木曾三川下流部ゴミマップ</a>	木曾川・長良川・揖斐川	木曾川	<a href="#">中部地方整備局</a> <a href="#">木曾川下流河川事務所</a>	マップだけではなく、ごみマップを掲載したパンフレットが良い啓発資料となっています。パンフレットでは市民の活動の紹介や取り組みがわかりやすく示されています。 上流と下流とで分けず、流域全体を示すマップがあればさらに良くなると思います。
入賞	<a href="#">九頭竜川・北川ゴミマップ</a>	九頭竜川・日野川	九頭竜川	<a href="#">近畿地方整備局</a> <a href="#">福井河川国道事務所</a>	WEB上に特化し、個別の場所や状況が詳細にわかるようになっていて、今後の電子化に向けての参考となります。 ごみの説明では漂着ごみもはっきりと示しています。 別途、説明リーフレットでは、川ごみと海ごみの関係もはっきりと示し、啓発用としてわかりやすくてきていますので、川ごみマップとリンクされるとよいと思われます。
入賞	<a href="#">猪名川・藻川ゴミマップ</a>	猪名川・藻川	淀川	<a href="#">近畿地方整備局</a> <a href="#">猪名川河川事務所</a>	ごみ分類数など情報を絞ってすっきりと見せています。「不法投棄」などの告発色もなく、穏やかに流域住民に呼びかけ、キャラクターによって子どもを含む流域住民に親しまれやすく作られているのを感じます。 写真は、家庭ごみやBBQごみなどリアリティを感じさせます。 どのような行動を取れば良いかというメッセージコメントもあとさらに良くなると思われます。
入賞	<a href="#">芦田川及び高屋川沿川ゴミマップ</a>	芦田川・高屋川	芦田川	<a href="#">中国地方整備局</a> <a href="#">福山河川国道事務所</a>	複数のグラフと写真をスッキリと表示しています。中心にはごみの内容の考察が掲載されて、現状が理解されやすくなっています。 家庭ごみの割合を示してあり、流域住民への訴えかけが感じられます。 ホームページでは、マップを見た人にどうしてほしいと書かれていますが、マップ単独ではその点が伝わらないのが残念です。
入賞	<a href="#">佐波川ゴミマップ</a>	佐波川	佐波川	<a href="#">中国地方整備局</a> <a href="#">山口河川国道事務所</a>	ごみがあるとどうしてダメなのか、どのくらい回収しているのか、その費用、税金で賄われていることなどが掲載され、流域住民向けに伝えたいことが明確に、メッセージ性が高く表現されています。 生きものにも悪影響が及ぶことも明記されていることにも目を引かれます。
入賞	<a href="#">肱川ゴミマップ</a>	肱川・矢落川	肱川	<a href="#">四国地方整備局</a> <a href="#">大洲河川国道事務所</a>	WEB上で、ポイントごとの「ごみの惨状」「川の悲しい姿」が詳細に見られるようになっていています。その解説は、どのような自然環境、種に影響があるのか具体的に記載されていて秀逸です。 子どもたちなどへの教材としても活用できるものであると感じられます。
入賞	<a href="#">大淀川流域ゴミマップ</a>	大淀川他	大淀川	<a href="#">九州地方整備局</a> <a href="#">宮崎河川国道事務所</a>	支川を含めた流域の徹底調査の成果としてのマップが作成されています。 調査および作成には市民団体も関わって作られていることは好感が持たれます。それにより市民団体を通じて活用されていることは特筆すべきことと感じます。

	ごみマップ名	対象河川	水系	制作者	受賞理由、マップへのコメント
特別賞	<a href="#">誤美マップ</a>	雄物川	雄物川	<a href="#">東北地方整備局</a> <a href="#">湯沢河川国道事務所</a>	<p>※河川ごみマップの先駆けであり 内容・デザイン・手法など 他の見本となる優れたマップです※</p> <p>掲載内容、デザインともに大変優れていて、力を入れて作られていることが感じられます。</p> <p>告発的ではありますが、一般市民へ伝える内容になっており、気づかせるような表現も上手に組みこまれています。ボリュームがありますが、読ませるように、興味惹かれるように書かれています。</p> <p>生きものへの影響、川と海ごみとのつながりについても写真やイラストでわかりやすく表現されています。</p> <p>最後には、私たちの行動を促すことも記載されわかりやすくなっていますが、更新される際には、ペットボトルからペットボトルにリサイクルされていることなど最新の情報を加えていただきたく思います。</p>
特別賞	<a href="#">最上川2005ゴミマップ</a>	最上川	最上川	<a href="#">東北地方整備局</a> <a href="#">山形河川国道事務所</a>	<p>※河川ごみマップの先駆けであり 内容・デザイン・手法など 他の見本となる優れたマップです※</p> <p>漂着ごみも対象とした散乱ごみの評価手法の見本となっています。「0」も含めて表現して流域全体の実相を明らかにしています。ごみの状況だけではなく、印刷されたマップの裏面(ホームページでは掲載なし)には川のあるべき姿を掲載し、ごみだけでなく良いところも一緒に見せるようにしているところが素晴らしい点です。</p> <p>ホームページの掲載の解像度が低く、雰囲気はわかっても文字が読めないのが残念であり、解像度が高いマップが掲載されることが望まれます。</p>